

## 平成 28 年度 事業報告

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

公益財団法人 S G H 財団

本年度は、国際的で活力ある社会の創造に向け、多面的かつ幅広く社会活動に寄与することを目的として、経済・産業、教育・文化、医療・福祉等の振興・発展を図るための研究及び事業への助成等を行うとの本財団の設立趣旨に則し、公益財団法人として、公益目的事業の充実を図るべく、事業計画に従い、東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国からの外国人留学生に対する奨学金助成事業、がんの基礎研究並びに応用治療研究に対する研究助成事業、褒賞事業、並びにがんに関する講演会及び市民講座を実施した。また、ラオス人民民主共和国に対する車両整備機器の無償供与、中華人民共和国などからの車両整備技術研修生受入れ及び物流人材育成を目的に物流に関する講義を提供した。

### I 事業の概要

#### 公益目的事業

#### 1 留学生奨学事業

##### (1) S G H 奨学生

日本の大学または大学院に在学する東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国の国籍を有する私費外国人留学生を奨学金支給の対象とし、国立・公立・私立大学の学長に募集要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の平成 28 年 4 月 17 日までに 79 大学から 92 名の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、奨学金の受給者を選出、理事長の承認を得て、次のとおり奨学支援を行った。

第 31 期奨学生：19 名（一人当たり月額 10 万円、支給期間 2 年間）  
年間支給額：2,280 万円（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）

氏名	国籍 大学／学部・研究科（敬称略・順不同）
アニサ パダン ペランギ	インドネシア 愛知大学 国際コミュニケーション学部
ラタナスワン サチタ	タイ 立命館アジア太平洋大学 国際経営学部
レ コン トウアン アン	ベトナム 滋賀大学 経済学部

タン チュウ テン	マレーシア 青森中央学院大学 経営法学部
ウイン トウン アン	ベトナム 東京国際大学 経済学部
チャン ティ フェン	ベトナム 武蔵野大学 グローバル・コミュニケーション学部
グエン ニュー クイン アイン	ベトナム 名古屋経済大学 経済学部
ワカマツ ケイ	マレーシア 鹿児島大学 理学部
ナツメ ユウキ	シンガポール 東京大学大学院 理学系研究科
クー エル シン	マレーシア 千葉大学大学院 工学研究科
チン ティー タン	ベトナム 秋田大学大学院 理工学研究科
フィン ティー トウイ チャン	ベトナム 九州工業大学大学院 生命体工学研究科
ステファン クリスチャンセン	インドネシア 帝京大学大学院 理工学研究科
ピー ピョ ミツ	ミャンマー 国士舘大学大学院 グローバルアジア研究科
チャン ティー グェット	ベトナム 事業創造大学院大学 事業創造研究科
ダン テー チー	ベトナム 佛教大学大学院 文学研究科
チャン ゴク ダ ミ	ベトナム 武蔵野大学大学院 言語文化研究科
ナーカサン チャワナット	タイ 奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
カムライ ティラワット	タイ 室蘭工業大学大学院 工学研究科

第30期奨学生：16名（一人当たり月額10万円、支給期間2年間）  
年間支給額：1,920万円（平成28年4月～平成29年3月）

氏名	国籍 大学／学部・研究科（敬称略・順不同）
リ ミン アン トウ	ベトナム 立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部

トラン ティエン クエン	ベトナム 大阪国際大学 国際コミュニケーション学部
ポー バン トウアン	ベトナム 東京大学 工学部
トウデ スカメルタ	インドネシア 沖縄国際大学 総合文化学部
エリーシ シン ツーシェン	マレーシア 東京工業大学 生命理工学部
コーサギッチャールート ゴラワン	タイ 東海大学 文学部
ラッチャキップラカーン チャナンチカー	タイ 武蔵野美術大学 造形学部
クエ ユー ヤン	マレーシア 室蘭工業大学 工学部
グエン ティ タン テュオン	ベトナム 岩手大学大学院 工学研究科
ブイ キャン ハオ	ベトナム 鹿児島大学大学院 理工学研究科
タン ケン ヤウ	マレーシア 大阪大学大学院 工学研究科
タンヤー リーラーシリウオン	タイ 高知大学大学院 総合人間自然科学研究科
ソンサー プラマハー ジャムラッス	タイ 花園大学大学院 文学研究科
タン イエン ホン	マレーシア 富山大学大学院 人文科学研究科
グエン ティ フオン タイン	ベトナム 神戸大学大学院 経済学研究科
グエン ヌー ホー	ベトナム 滋賀医科大学大学院 医学系研究科

## (2) 奨学生交流活動

### ① 第31期SGH奨学生採用証書授与式

本年度採用した第31期SGH奨学生に対し、SGH奨学生採用証書授与式を次のとおり開催した。

日 時	平成28年10月31日(月) 12:45～15:00
場 所	ホテル日航プリンセス京都
内 容	第31期SGH奨学生採用証書授与式

## ② 交流会

第 31 期 S G H 奨学生、第 30 期 S G H 奨学生及び卒業奨学生との留学生相互間の交流を深めることを目的として、次のとおり交流会を開催した。

日 時	平成 28 年 10 月 29 日（土）～30 日（日）
場 所	京都府・滋賀県
内 容	佐川美術館見学 観光（清水寺・着物着付け体験・万華鏡手作り体験）

## ③ 第 4 回なごみ会

奨学生及び卒業奨学生が互いの現況報告や情報交換をする交流の場を設けると共に、卒業奨学生と長期にわたり繋がりを維持していくことを目的として、次のとおりなごみ会を開催した。

日 時	平成 29 年 1 月 28 日（土）17:00～19:00
場 所	スクワール麴町

## (3) 刊行物発刊

### ① 奨学生報告集「2016 年度版 アジアの和」

第 31 期 S G H 奨学生の留学目的、学習又は研究の方針及び感想文等と第 30 期生の私の夢について掲載、平成 28 年 10 月に 200 部発刊し、奨学生、卒業奨学生及び財団関係者に配付した。

### ② 第 30 期 平成 29 年 3 月卒業予定者 研究成果・感想文集

平成 29 年 3 月に卒業した 16 名の研究成果・感想文集を平成 29 年 2 月に 160 部発刊し、奨学生、卒業奨学生及び財団関係者に配付した。

## 2 助成事業・褒賞事業

### (1) 第 28 回 S G H がん研究助成

日本の大学、研究機関、医療機関等において、がんに関する基礎研究または臨床研究に携わる満 45 歳未満の日本人研究者及び医療従事者、並びに日本に定住する外国人研究者及び医療従事者の優れた研究を助成対象とすることとし、大学、研究機関、医療機関等の長に応募要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の平成 28 年 6 月 30 日までに 85 機関から 201 件の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、助成対象者を選出、理事長の承認を得て、次のとおり助成を行った。研究期間終了後、研究報告書及び会計報告書を入力する。

助成数：15件 金額：1,500万円（1件当たり100万円）

氏名	所属・役職／研究テーマ	(敬称略・五十音順)
井口 友宏	国立病院機構九州がんセンター医師 三次元ゲノム解析による肝内胆管癌の腫瘍内不均一性の解明と革新的創薬標的の網羅的探索	
梅村 将就	横浜市立大学医学部医学科循環制御医学助教 産学連携から生まれた磁性分子標的薬を用いた新しい悪性軟部腫瘍に対する治療法の開発	
及川 恒一	東京慈恵会医科大学内科学講座消化器・肝臓内科助教 新規 FL-HCC PDX を用いた肝癌幹細胞の発生・維持・分化における DYRK ファミリー分子の制御機構の解明	
金子 修三	国立研究開発法人国立がん研究センター研究所がん分子修飾制御学分野ユニット長 がん幹細胞標的型低分子抗がん剤の開発を目指したヒストンメチル化変異の網羅的解析	
鐘巻 将人	情報・システム研究機構国立遺伝学研究所分子細胞工学研究部門教授 オーキシンドグロン技術を利用したヒトゲノム安定維持メカニズムの解明	
工藤 保誠	徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔分子病態学分野准教授 細胞周期調節因子のユビキチン分解を制御する Emil を標的とした新規癌治療開発のための分子基盤の確立	
合山 進	東京大学医科学研究所先端医療研究センター細胞療法分野准教授 G0 マーカー細胞を活用した治療抵抗性白血病幹細胞の特性解明	
近藤 夏子	京都大学原子炉実験所粒子線腫瘍学研究分野助教 脳腫瘍幹細胞の BNCT (硼素中性子捕捉療法) 薬剤の取り込み不均一性の解明	
高橋 秀尚	北海道大学大学院医学研究科生化学講座医化学分野講師 新規転写伸長制御因子 Med26 の腫瘍性疾患との関わりについての研究	
中嶋 悠一郎	東北大学学際科学フロンティア研究所新領域創成研究部助教 上皮組織の恒常性維持とがん化を制御する細胞分裂方向の分子基盤解明	
福田 隆志	北里大学薬学部微生物薬品製造学教室助教 未知の可能性を秘めた海洋微生物資源からの抗がん剤シーズの探索	
藤田 敏次	大阪大学微生物病研究所感染症学免疫学融合プログラム推進室助教 癌細胞でみられる Wnt/ $\beta$ -カテニン経路活性化に伴う遺伝子発現亢進機序の解明	
淵上 剛志	長崎大学医歯薬学総合研究科生命薬科学専攻健康薬科学講座衛生化学研究室准教授 がん選択的な内用療法への応用を目指した放射性ペプチドミメティクスの開発	
古澤 之裕	富山県立大学工学部教養教育生物学教室講師 エピジェネティクス調節による制御性 T 細胞の抑制と腫瘍免疫の増強	
三木 貴雄	京都大学大学院医学研究科分子腫瘍学教室特定助教 がんと概日リズムの関連に着目した新規薬剤標的の探索	

## (2) 第14回SGH特別賞

がんの研究に顕著な功績を挙げ、かつ今後の発展が期待される研究者及び医療従事者の推薦を学識経験者、当財団理事、評議員及び顧問に依頼した結果、推薦締切の平成28年6月30日までに11件の推薦があり、選考委員会による慎重かつ公正な選考結果をもとに理事長の承認を得て、次のとおり褒賞を行った。翌年度、受賞テーマの研究報告書を入手する。

贈呈数： 2件 総額： 1,000万円（1件当たり500万円）

栗和田榮一賞： 彫刻家・笹戸千津子氏作のブロンズ像「希望」

氏名	所属・役職／受賞テーマ	(五十音順)
小西 郁生 氏	独立行政法人国立病院機構京都医療センター院長 卵巣癌の発生および進展機序の臨床病理学的多様性とそのゲノム解析に基づく新規治療法の開発	
柴田 龍弘 氏	東京大学医科学研究所ゲノム医科学分野教授 国立がん研究センターがんゲノミクス研究分野分野長 治療から予防までを包含するゲノム医療実現の基盤となる固形がんの包括的ゲノム解読	

## (3) 第14回SGH看護特別賞

がんの看護、予防、医療に関する研究に顕著な業績を挙げ、将来も活動が継続され、その成果が期待される個人、または団体の推薦を学識経験者、当財団理事、評議員及び顧問に依頼した結果、推薦締切の平成28年6月30日までに6件の推薦があり、選考委員会による慎重かつ公正な選考結果をもとに理事長の承認を得て、次のとおり褒賞を行った。翌年度、受賞テーマの研究報告書を入手する。

贈呈数： 2件 総額： 200万円（1件当たり100万円）

栗和田榮一賞： 彫刻家・笹戸千津子氏作のブロンズ像「悠」

氏名	所属・役職／受賞テーマ	(五十音順)
NPO法人 マギーズ東京	代表者：秋山正子 氏（NPO法人マギーズ東京共同代表） がん体験者が自分を取り戻すための居場所づくり～マギーズ東京プロジェクト～	
安藤 詳子 氏	名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻基礎・臨床看護学講座教授 地域緩和ケアにおける看護実践力開発に関する研究	

#### (4) 授与式・授賞式の開催

第 28 回 S G H がん研究助成金受領者を対象とした研究助成金授与式及び第 14 回 S G H 特別賞、第 14 回 S G H 看護特別賞授賞式、並びに第 13 回 佐川特別賞受賞者、第 13 回 佐川看護特別賞受賞者による記念講演会を次のとおり開催した。

日 時	平成 28 年 12 月 3 日 (土) 11:00～12:45
場 所	ウェスティン都ホテル京都
内 容	第 28 回 S G H がん研究助成金授与式 第 14 回 S G H 特別賞・S G H 看護特別賞授賞式 第 13 回 佐川特別賞受賞記念講演 「がんの免疫チェックポイント阻害療法」 湊 長博 氏 (京都大学大学院医学研究科特命教授) 第 13 回 佐川看護特別賞受賞記念講演 「患者中心のがん看護実践の開発」 小松 浩子 氏 (慶應義塾大学看護医療学部・ 大学院健康マネジメント研究科教授)

#### (5) 研究成果報告集の刊行

第 27 回 佐川がん研究助成金受領者及び第 13 回 佐川特別賞、第 13 回 佐川看護特別賞受賞者より提出されたがんに関する研究成果と平成 28 年度の事業報告を掲載し、「2016 S G H がん研究報告 Vol.27」を平成 29 年 3 月に 700 部発刊し、全国の大学、病院等の研究機関、図書館等に配付した。

### 3 がんに関する市民講座の開催

第 15 回 市民公開講座を次のとおり開催した。

なお、採録記事を読売新聞朝刊(平成 29 年 3 月 17 日付)に掲載した。

#### 第 15 回 市民公開講座

「こんなに進んだ大腸がん診療！」

日 時	平成 29 年 2 月 26 日 (日) 13:00～15:45
場 所	グランフロント大阪北館 B2F ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター

内 容	<p>基調講演（20分）  大腸がんとは？  森 正樹 氏（大阪大学医学部消化器外科教授）</p> <p>講演（各15分）  大腸がんの診断と内視鏡による優しい治療  田中 信治 氏（広島大学病院内視鏡診療科教授）</p> <p>最新の大腸がん手術～美しく優しい手術～  竹政 伊知朗 氏  （札幌医科大学消化器・総合、乳腺・内分泌外科学教授）</p> <p>大腸がん化学療法と自分らしい生活の両立  工藤 敏啓 氏  （大阪大学医学部先進癌薬物療法開発学助教）</p> <p>パネルディスカッション  司会：森 正樹 氏  パネリスト：田中 信治 氏、竹政 伊知朗 氏、工藤 敏啓 氏</p>
コーディネーター	平岡 眞寛 氏（日本赤十字社和歌山医療センター院長 京都大学大学院医学研究科特命教授）
司 会	植月 百枝 氏（フリーアナウンサー）
参加者数	800名
後 援	公益財団法人日本対がん協会
協 力	SG ホールディングス株式会社 佐川急便株式会社 佐川アドバンス株式会社

## その他事業

### 1 中古トラックの無償寄贈事業

ラオス人民民主共和国国家陸上河川運輸公社に対し、車両整備機器（リフト、タイヤチェンジャー等）を寄贈した。寄贈した車両整備機器は、整備工場にて設置作業を実施し、取扱説明及びトレーニングを行い、次のとおり寄贈式を開催した。

なお、本事業については、次年度より休止する。

日 時	平成 29 年 3 月 21 日（火）
場 所	ラオス人民民主共和国 ドン チャン パレス ホテル
来 賓	公共事業運輸省 ブンチャン・シンタボン大臣 在ラオス日本国大使館 川田 一徳 参事官

## 2 人材育成支援事業

### (1) 中国車両整備技術研修生

中華人民共和国湖南省（長沙市）より 6 名の研修生を受け入れ、日本において下記のとおり研修を実施した。

日 時 平成 28 年 8 月 30 日（月）～9 月 14 日（水）

場 所 東京都・神奈川県・栃木県・埼玉県

内 容 第 27 期中国車両整備技術研修

いすゞ自動車販売株式会社、UDトラックス株式会社、SGモーターズ株式会社、三菱ふそうトラック・バス株式会社、佐川急便株式会社、佐川グローバルロジスティクス株式会社、日野自動車株式会社

### (2) ラオス車両整備技術研修生

中古トラックの寄贈先であるラオス人民民主共和国国家陸上河川運輸公社より 5 名を受け入れ、下記のとおり研修を実施した。

日 時 平成 28 年 11 月 7 日（月）～25 日（金）

場 所 タイ王国 バンコク

内 容 第 8 期ラオス車両整備技術研修

トリペッチいすゞセールスカンパニー

### (3) ラオス物流人材育成支援

ラオス人民民主共和国の業界団体・民間物流事業者の実務者 30 名、ラオス国立大学にて物流を専攻する 4 年生 36 名及び講師 14 名を対象にそれぞれ下記のとおり講義を実施した。平成 26 年度より、国土交通省と連携し、ASEAN 地域を対象に物流に関する講義の提供を行っている。

日 時 平成 29 年 3 月 9 日（木）～3 月 17 日（金）

場 所 ラオス人民民主共和国 ヴィエンチャン

内 容 第 1 期ラオス総合物流講座

①公共事業運輸省訓練センター 3 月 9 日～3 月 10 日

（業界団体・民間物流事業者の実務者 30 名）

②ラオス国立大学 3 月 13 日～3 月 17 日

（物流を専攻する 4 年生 36 名及び講師 14 名）

## II 処務の概要

### 1 役員等に関する事項

#### (1) 役員に関する事項

理事 定数：5名以上7名以内 現在：6名 任期：2年

監事 定数：3名以内 現在：2名 任期：4年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
理事長	栗和田 榮一	SGホールディングス株式会社代表取締役会長／ 佐川急便株式会社会長
理事	小西 郁生	独立行政法人国立病院機構京都医療センター院長
理事	西堀 正司	公益社団法人日本中国友好協会専務理事
理事	平岡 眞寛	日本赤十字社和歌山医療センター院長／ 京都大学大学院医学研究科特命教授
理事	古城 紀雄	大阪大学名誉教授
理事	松本 秀一	SGホールディングス株式会社執行役員
監事	奥村 和義	紫野税理士法人代表社員
監事	北村 善和	北村善和税理士事務所所長

#### (2) 評議員に関する事項

評議員 定数：5名以上7名以内 現在：5名 任期：4年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
評議員	上田 龍三	愛知医科大学腫瘍免疫寄附講座教授／ 名古屋市立大学名誉教授
評議員	奥村 正悟	京都大学学生総合支援センター キャリアサポートルーム室長 (特任教授)
評議員	佐野 友紀	SG HOLDINGS GLOBAL PTE.LTD.代表取締役社長／ SGホールディングス株式会社 執行役員 海外事業担当
評議員	武藤 誠	京都大学国際高等教育院特定教授／ 京都大学大学院医学研究科特命教授
評議員	根本 好教	元財団法人社会安全研究財団専務理事

#### (3) 顧問に関する事項

顧問 定数：なし 現在：10名 任期：2年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
顧問	内田 浩幸	佐川急便株式会社取締役
顧問	垣添 忠生	公益財団法人日本対がん協会会長

顧問	菊地 宏子	元一般財団法人佐川国際経済協力会事務長
顧問	北島 政樹	国際医療福祉大学副理事長・名誉学長
顧問	河野 伊一郎	倉敷芸術科学大学学長／独立行政法人国立高等専門学校機構顧問／岡山大学名誉教授（元学長）
顧問	佐川 光	佐川急便株式会社理事／SG ホールディングスグループ健康保険組合理事長
顧問	高月 清	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院評議員／熊本大学名誉教授
顧問	橋本 逸男	公益社団法人日本中国友好協会副会長 日本ラオス協会会長／株式会社日本無線社外取締役
顧問	村岡 久平	公益社団法人日本武術太極拳連盟会長／ 公益社団法人日本中国友好協会名誉副会長
顧問	山岸 久一	京都府特別参与／京都府地域医療支援センター長／ 前京都府立医科大学学長

## 2 会議に関する事項

### (1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成28年6月2日	平成 27 年度事業報告及び附属明細書の承認の件	承認
	平成 27 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件	承認
	顧問 1 名選任の件	承認
	選考委員（SGH奨学生・SGHがん研究助成・SGH特別賞・SGH看護特別賞）改選の件	承認
	定時評議員会開催の件	承認
	職務執行状況について	報告
	国際経済協力事業人材育成支援（中国車両整備技術研修）について	報告
平成29年3月27日	国際経済協力事業ラオスへの車両整備機器寄贈について	報告
	平成 29 年度事業計画書・収支予算書等承認の件	承認
	平成 28 年度職務執行の状況について	報告

## (2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 28 年 6 月 20 日	平成 27 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び同附属明細書並びに財産目録の承認の件	承認
	平成 27 年度事業報告の件	報告
平成 29 年 3 月 16 日 （みなし決議）	理事 1 名選任の件	承認

## (3) 各種委員会

### ① 第 31 回 S G H 奨学生選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 28 年 5 月 7 日	第 31 期 S G H 奨学生の選考に関する件	対象者を選出

### ② 第 28 回 S G H がん研究助成選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 28 年 9 月 9 日	第 28 回 S G H がん研究助成選考に関する件	対象者を選出

### ③ 第 14 回 S G H 特別賞選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 28 年 8 月 19 日	第 14 回 S G H 特別賞選考に関する件	対象者を選出

### ④ 第 14 回 S G H 看護特別賞選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 28 年 8 月 22 日	第 14 回 S G H 看護特別賞選考に関する件	対象者を選出

## 3 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

### ① 理事の職務執行に係る情報の保存及び管理に関する事項

理事の職務執行は、法令及び定款等に基づいて行われ、その職務執行に係る情報は、理事会議事録に記載され、その記録の保存・管理は、適切

に保存及び管理している。

- ② 理事及び職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制  
法令、定款及び社会規範等の厳守を目的としてコンプライアンス規定を定め、運用することを準備している。

#### 4 内閣府への提出等に関する事項

提出年月日	内容
平成28年6月29日	事業報告等の提出
平成29年3月29日	事業計画書等の提出
平成29年3月31日	変更の届出

#### 5 寄附収入に関する事項

寄附者	寄附の目的	寄附金額
SGホールディングスグループ	公益目的事業発展のため	97,000,000円

## 附属明細書

平成 28 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 29 年 6 月

公益財団法人 S G H 財団